

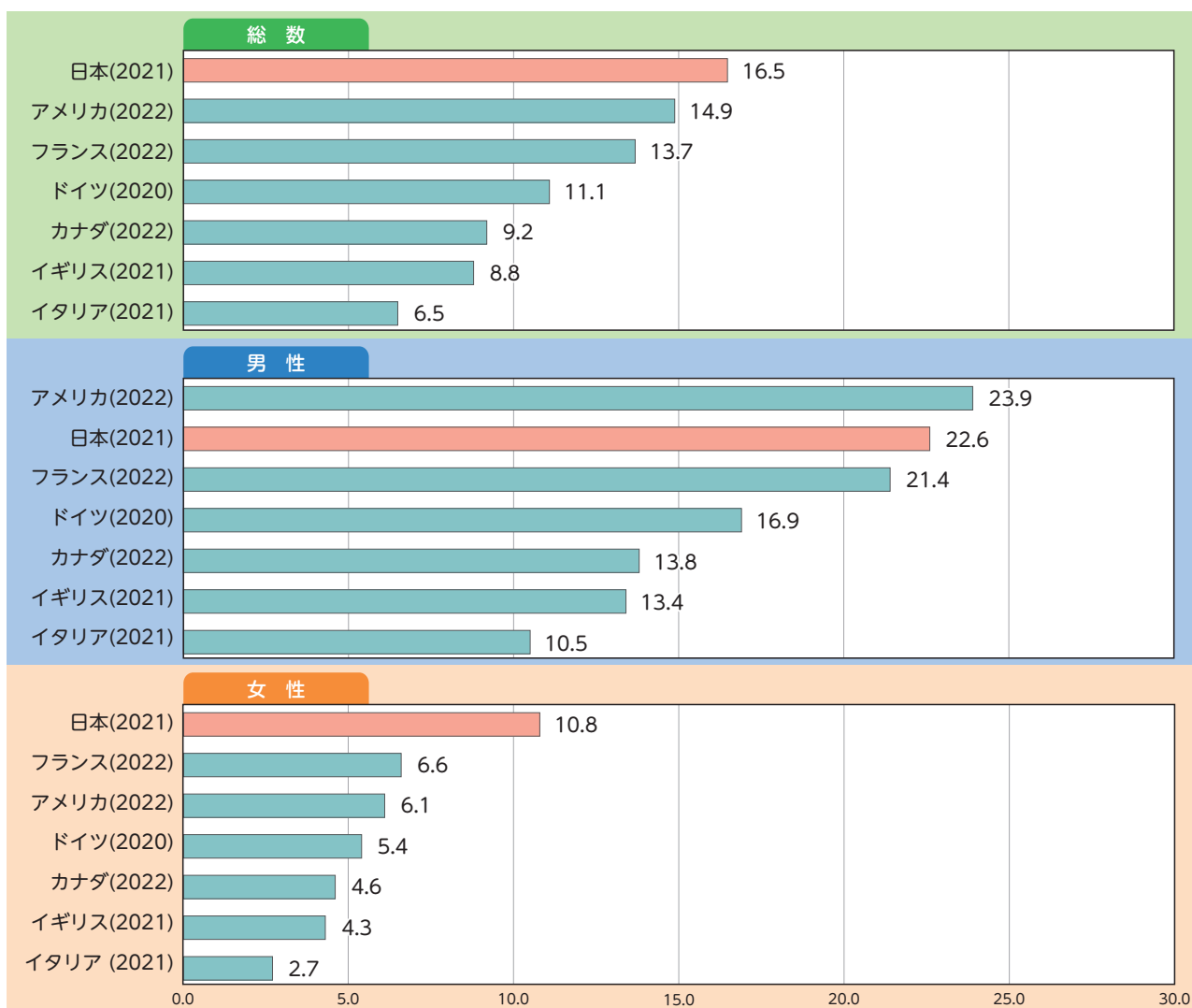
4 海外の自殺の状況

(1) G7各国の自殺の状況

G7各国の自殺死亡率について、世界保健機関（WHO）のデータによれば、「日本」（16.5）は7か国の中で最も高かった。「アメリカ」（14.9）が2番目に高く、次いで「フランス」（13.7）、「ドイツ」（11.1）、「カナダ」（9.2）、「イギリス」（8.8）及び「イタリア」（6.5）の順に高かった。

男女別にみると、男性は「アメリカ」（23.9）が最も高く、「日本」（22.6）は2番目に高かった。女性は「日本」（10.8）が最も高かった（図表1-28）。

図表1-28 G7各国の自殺死亡率



※アメリカ、イギリス及びカナダの人口は世界保健機関資料より最新データが得られなかったため、各国の公的統計データを利用した。
資料：世界保健機関資料（2025年2月）等より厚生労働省作成

WHOのデータからG7各国の若年層の死因順位をみると、第1位が「自殺」となっているのは「10～19歳」では「日本」のみ、「20～29歳」では「日本」及び「ドイツ」であった。「自殺」の死亡率でみても、「日本」の「10～19歳」(7.0)及び「20～29歳」(21.3)は、7か国の中で最も高かった(図表1-29)。

図表1-29 G7各国の10～19歳及び20～29歳の死因順位(死亡数・死亡率)

10～19歳												
	日本(2021)			アメリカ(2022)			フランス(2022)			ドイツ(2020)		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
第1位	自殺	760	7.0	不慮の事故	5,665	13.1	不慮の事故	390	4.8	不慮の事故	288	3.8
第2位	不慮の事故	214	2.0	他殺	3,117	7.2	自殺	193	2.4	自殺	179	2.4
第3位	悪性新生物(腫瘍)	208	1.9	自殺	2,655	6.1	悪性新生物(腫瘍)	161	2.0	悪性新生物(腫瘍)	157	2.1

	カナダ(2022)			イギリス(2021)			イタリア(2021)			【参考】韓国(2022)		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
第1位	不慮の事故	241	5.6	不慮の事故	269	3.4	不慮の事故	244	4.3	自殺	337	7.2
第2位	自殺	184	4.3	自殺	243	3.1	悪性新生物(腫瘍)	143	2.5	不慮の事故	109	2.3
第3位	悪性新生物(腫瘍)	101	2.4	悪性新生物(腫瘍)	157	2.0	自殺	110	1.9	悪性新生物(腫瘍)	96	2.0

20～29歳												
	日本(2021)			アメリカ(2022)			フランス(2022)			ドイツ(2020)		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
第1位	自殺	2,526	21.3	不慮の事故	24,295	54.1	不慮の事故	875	11.8	自殺	694	7.2
第2位	不慮の事故	440	3.7	自殺	7,937	17.7	自殺	644	8.7	不慮の事故	668	7.0
第3位	悪性新生物(腫瘍)	382	3.2	他殺	6,755	15.0	悪性新生物(腫瘍)	330	4.4	悪性新生物(腫瘍)	368	3.8

	カナダ(2022)			イギリス(2021)			イタリア(2021)			【参考】韓国(2022)		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
第1位	不慮の事故	1,237	23.8	不慮の事故	1,006	12.0	不慮の事故	618	10.4	自殺	1,394	21.4
第2位	自殺	496	9.5	自殺	923	11.0	自殺	276	4.6	不慮の事故	412	6.3
第3位	悪性新生物(腫瘍)	188	3.6	悪性新生物(腫瘍)	386	4.6	悪性新生物(腫瘍)	274	4.6	悪性新生物(腫瘍)	251	3.9

※死亡率は、人口10万人当たりの死亡数である。また、死因分類表については、死因簡単分類表を用いた。

※アメリカ、イギリス及びカナダの人口は世界保健機関資料より最新データが得られなかったため、各国の公的統計データを利用した。

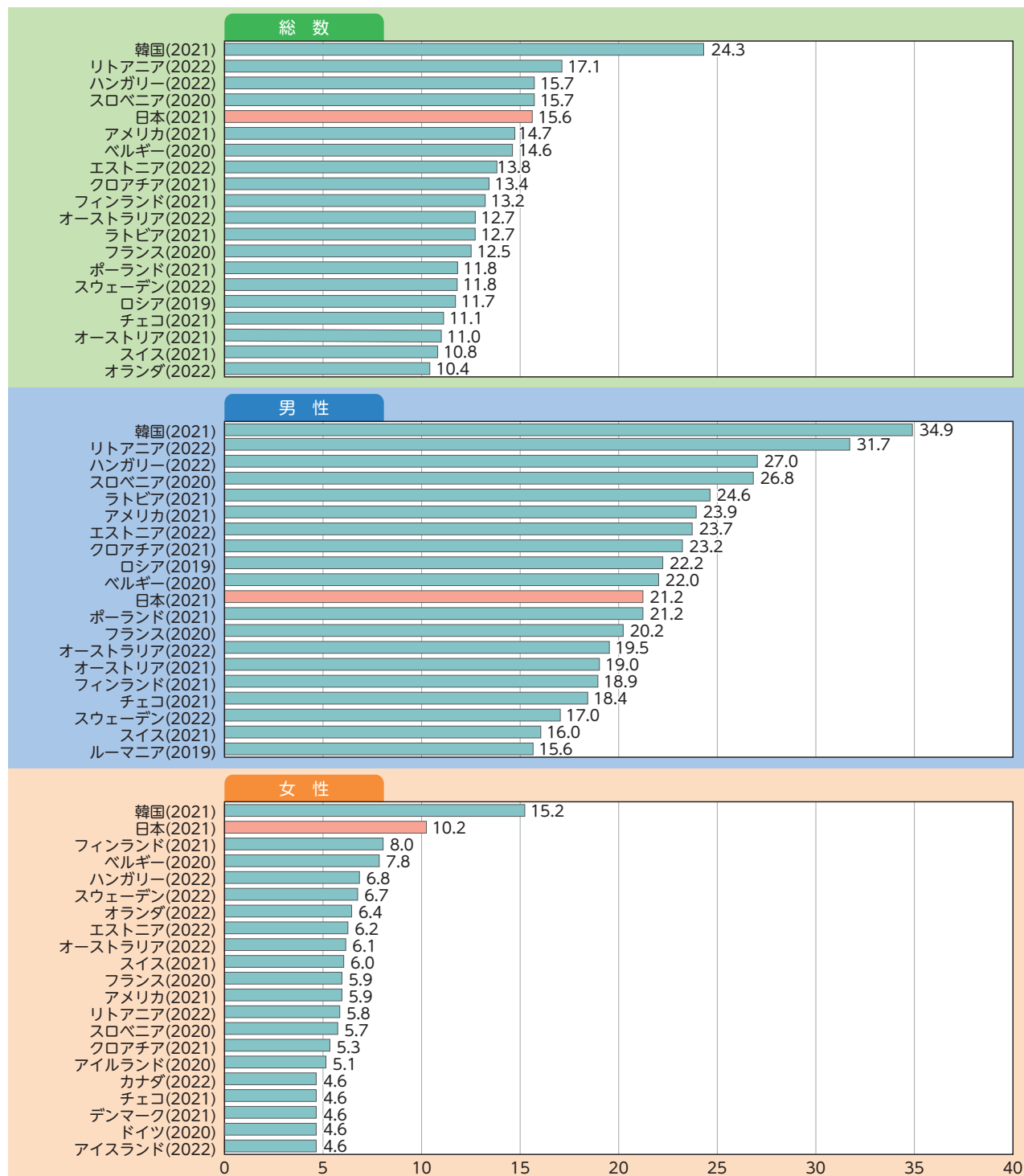
※G7のほか、日本と同程度の自殺死亡率である韓国のデータも参考として記載している。

資料：世界保健機関資料(2025年2月)等より厚生労働省作成

(2) 諸外国の自殺の状況

諸外国の自殺の状況について、経済協力開発機構（OECD）のデータにより、自殺死亡率の上位20か国をみると、「韓国」（24.3）が最も高く、「リトアニア」（17.1）、「ハンガリー」及び「スロベニア」（15.7）と続き、「日本」（15.6）は5番目であった。男女別にみると、「日本」は男性が21.2で11番目、女性が10.2で2番目であった（図表1-30）。

図表1-30 諸外国の自殺死亡率



※世界保健機関資料を基に経済協力開発機構が年齢調整を行った自殺死亡率である。

資料：経済協力開発機構資料（2025年4月）より厚生労働省作成